

◆2020東京オリンピック・パラリンピック開催延期

新型コロナウイルス感染症の拡大により、2020年3月24日、安倍総理とバウハ国際オリンピック委員会会長との電話会談が行われ、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の延期が発表された。

大会は一年程度の延期とされ、2020年3月30日には、新たな日程が示された。

【新たな日程】

- ・オリンピック : 2021年7月23日(金)～8月8日(日)
- ・パラリンピック : 2021年8月24日(火)～9月5日(日)

この決定により、2020年の事前キャンプは実施しないこととなった。

◆2020東京オリンピック聖火リレー:公道での開催は中止

聖火リレーも1年延期となったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、聖火リレーは、県内すべて公道での実施は中止となった。

代替え措置として、2021年7月1日に、蓮沼海浜公園第2駐車場で、トーチに聖火を灯す点火セレモニーが実施された。

南房総区間で走る予定だった聖火ランナーも点火セレモニーに参加し、会場内にてトーチキスを行った。館山市の聖火ランナーである田村本部長も参加した。



田村本部長が聖火点火セレモニーの様子



田村本部長が聖火点火セレモニー後に市長を表敬訪問



◆オランダトライアスロン・OWS事前キャンプの実現

2020東京オリンピックの開催に合わせ、オランダトライアスロン及びOWS選手・コーチの事前キャンプを受け入れた。

TRIATLON

N o	Name		区分	出発日	性別	種目	国
1	Elmar Van Der Stel		選手 -7/31 混合	7/29	Men	トライアスロン	NED
2	Jorik Van Egdom		選手 -7/31 混合	7/29	Men		
3	Sander Berk Embedded		サイエンティスト (科学者)	7/29	Men		
4	Maya Kingma		選手 -7/27 個人 -7/31 混合	7/23	Female		
5	Rachel Klamer		選手 -7/27 個人 -7/31 混合	7/23	Female		
6	Jordi Meulenberg		コーチ	7/22	Men		
7	Louis Delahaije		コーチ	7/23	Men		
8	Edwin Meulenberg		フィジオ (理学療法士)	7/23	Men		
9	Richard Donald Murray		選手	7/23	Men		RSA

OWS

No	Name		区分	出発日	性別	種目	国
1	Albert Thijs Hagelstein		コーチ	7/29	Men	O W S	NED
2	Patrick Martens		コーチ	7/29	Men		
3	Ferry Weertman		選手	7/29	Men		

新型コロナウイルス感染症が拡大している中での実施であり、感染症対策マニュアルを作成し、練習会場とホテル以外の移動を認めない形で行った。

実施期間は令和3年7月20日（火）から29日（木）までの10日間。

キャンプ期間中は、選手・コーチをはじめ、受け入れ側のスタッフ・職員も毎日PCR検査を実施し、トレーニング中も市民との接触を避けるため、常にスタッフが帯同する形で行った。幸いにも期間中一人の陽性者も出さず、無事にキャンプを終えることが出来た。



オリンピックに向け、気合の拳

◆USAトライアスロン館山での事前キャンプ断念

7月14日～23日に予定していたUSAトライアスロンの事前キャンプが中止になった。中止の大きな理由は、新型コロナ感染症予防対策で、USAトライアスロンは、一人のコーチにUSAの選手の他、複数の国籍の選手も含まれており、新型コロナ感染対策に関し、各国NOCとの調整が難しいことから想定していたキャンプが困難であるとのことで、実施を見送る連絡があった。

◆最高のトレーニング環境に絶賛

事前キャンプ実施中、7月21日にはメディアの取材を受け、大会への意気込みを語った。取材当日は、読売・毎日・朝日・房日・千葉日報・NHKの6社が訪れ、各紙に取り上げていただいた。(NHKはお昼のニュースで放映された。)

館山中学校の芸術部の生徒が中心となり、オランダ・USA両国の選手に対し、応援フラッグを作成し贈呈した。



館山中芸術部の皆さん オランダとUSAに応援フラッグを作成

オランダトライアスロン・OWSの選手・コーチから、「宿泊施設は全館貸し切りにしていただいて、他人との接触がなく、ゆったりとリラックスして過ごすことが出来た。」

「公道・プール・海ともに最高のトレーニング環境である。」との評価をいただいた。

オリンピックが終わり、帰国後にトライアスロンのルイス監督から、「今回の結果には満足している。頑張った選手たちを誇りに思う。この結果は、間違いなく館山でキャンプができたからだ。また館山で会おう。」とメッセージをいただいた。

館山市としては、今回で終わらず、次につながるメッセージと、前向きに受け止めている。

今回事前キャンプを実施しなかった、USAトライアスロンから「選手村で応援フラッグを受け取り、とても感激した。館山でお世話になった方たちに、感謝の気持ちをお伝えてほ

<2021.09.06 現在>

しい。」と、メッセージがあった。USAトライアスロンは、アジア圏で開催される大会時には館山を拠点としたいとの話もいただいた。

コロナ禍が収束した際には、また、トップアスリートのトレーニングを間近で見る機会が訪れるものと期待している。





50mプールでの様子

<2021.09.06 現在>



海





フラワーラインをバイクで



<2021.09.06 現在>



食事風景

市長からスイカの差し入れ



◆オリンピックを身近に感じて！ 最終日には金メダルも展示

無観客で開催された東京オリンピック中、オリンピックを少しでも身近に感じてもらうようと、聖火リレートーチや、館山市ゆかりのオリンピックのグッズ展示を実施した。

聖火セレモニーで、田村悦智子本部長が7月1日使用した聖火トーチをはじめ、館山ふるさと大使であり、オリンピックの細田雄一選手、上田藍選手、東京オリンピック出場を決めた貴田裕美選手が過去に試合で使用した愛用のグッズを展示した。

この展示に先駆け、豊房小（校長佐野清，児童数 57 人）で、21日 8:45（終業式後）から田村悦智子本部長を招いて、「オリンピック直前！聖火トーチがやってくる」を開催した。

聖火リレーが行われていれば、豊房小の児童がよさこいソーラン節を披露するはずだったので、田村悦智子本部長から、「ぜひ手に取って実感してもらいたい。」との思いから実現した。

館山ふるさと大使で、東京オリンピックマラソンスイミング女子 10 kmに出場した貴田裕美選手（コナミスポーツクラブ・ロンドン・リオ・東京三大会連続出場）の日本代表ウェアや、館山ふるさと大使（館山トライアスロン大使）の上田藍選手（ペリエ・グリーンタワー・ブリヂストン・稲毛インター，北京・ロンドン・リオ三大会連続出場）や館山ふるさと大使（館山トライアスロン大使）の細田雄一選手（博慈会，ロンドン大会出場）のグッズが展示された。また、最終日の8日には、田村悦智子本部長の金メダルも特別に展示された。

実施期間 令和3年7月23日～8月8日まで
場 所 渚の駅たてやま(2階 渚のギャラリー)



聖火リレートーチ

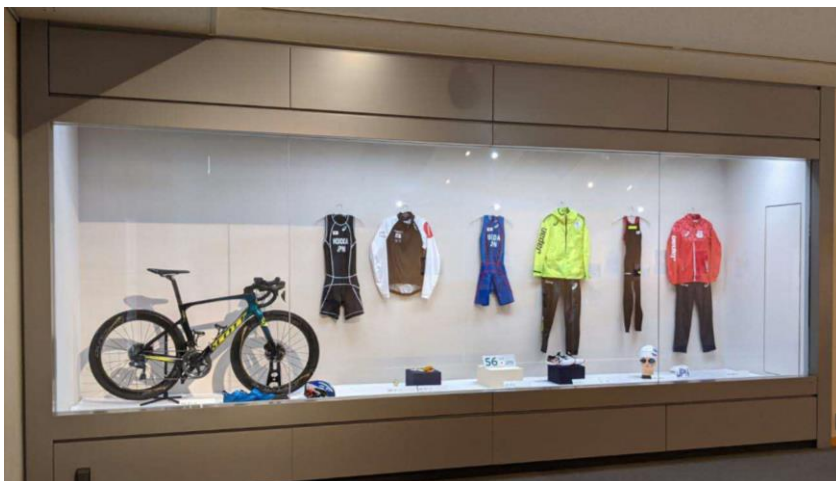


展示会入口で田村本部長

<2021.09.06 現在>



田村悦智子本部長 モントリオール五輪(1976)の品々 ・ 東京 2020 オリンピック聖火リレートーチ



館山ふるさと大使ゆかりの品々

◆館山関連の選手 大健闘!

○オリンピック

・オランダトライアスロン・OWS (マラソンスイミング)

7月27日	トライアスロン女子		
	4位	レイチェル・クラマー	1:57:48
	11位	マヤ・キングマ	1:59:19
7月31日	トライアスロン男女混合リレー 第4位 1:24:34		
	①	レイチェル・クラマー (女子)	
	②	マルコ・ファンデルステル (男子)	
	③	マヤ・キングマ (女子)	
	④	ヨリク・ファンエクドム (男子)	
8月5日	OWS (マラソンスイミング) 男子		
	7位	フェリー・ウェルトマン	1:51:30.8

・USAトライアスロン

7月26日	トライアスロン男子		
	6位	ケビン・マクダウエル	1:45:54
7月27日	トライアスロン女子		
	3位 銅メダル	ケイティ・ザフィアエス	1:57:03
7月31日	トライアスロン男女混合リレー 第2位 銀メダル 1:23:55		
	①	ケイティ・ザフィアエス (女子)	
	②	ケビン・マクダウエル (男子)	
	③	テーラー・ニブ (女子)	
	④	モーガン・ピアソン (男子)	

・日本代表 OWS (マラソンスイミング)

8月4日	OWS (マラソンスイミング) 女子		
	13位	貴田 裕美 (館山OWS大使:三大会連続出場)	2:01:40.9
8月5日	OWS (マラソンスイミング) 男子		
	13位	南出 大伸 (館山市で事前キャンプ実施)	1:59:04.9

○パラリンピック 館山出身者結果

・鈴木朋樹選手（陸上：800m・1500m T 5 4 ・マラソン T 5 4 ・ユニバーサルリレー）

8月31日	1500m T 5 4 (決勝)	9位 2:53.60
9月2日	800m T 5 4	予選敗退
9月3日	ユニバーサルリレー	3位 銅メダル
9月5日	車いすマラソン T 5 4	7位入賞 1:30:45秒

・長田まみ子選手（シッティングバレーボール）

8月27日	対 イタリア戦	0-3 敗退
8月29日	対 ブラジル戦	0-3 敗退
9月1日	対 カナダ戦	0-3 敗退
		8位入賞

◆コロナ禍だからこそスポーツを！

新型コロナウイルス感染拡大により、2020東京オリンピック・パラリンピックは1年延期となり、2020年の館山事前キャンプは中止となった。

コロナ禍における外出自粛などにより運動機会が減少する中、市民一人ひとりが取り組む健康増進・体力づくりが重要となっており、新しい生活様式の下、2020年11月3日に「スポーツ健康都市」を宣言し、記念イベントとしてロゲイニング大会を実施した。

また、スポーツ庁が、2020東京オリンピック・パラリンピック大会のレガシーに向けて、一人ひとりが自然とスポーツを楽しみ、スポーツを通じて健康になり、毎日をいきいきと過ごせるよう提唱している「Sport in Life」プロジェクトに加盟した。

◆スポーツで世界を広げよう！

オランダ大使館からチューリップの球根が送られたことをきっかけに、館山市との花の交流が始まった。館山市はチューリップを市の7番目のイメージフラワーに加えた。館山市からは市内の生徒・児童が育てたひまわりの種を送り、2020年の夏には、オランダ大使館の庭で花を咲かせ、大使館の庭を彩った。



オランダから送っていただいたチューリップが開花

館山市は、世界のトップアスリートが認めたスポーツ環境と館山若潮マラソン40年の歴史で根付いた応援するスポーツ文化がある。スポーツ健康都市を宣言し、市民がさらにスポーツ習慣を身につけていけ、スポーツを目的に訪れる来訪者を増やし、ともに高め合っていくことを広げていきたい。



2021年オランダ大使館で咲いたひまわり